

足立区にかつてあった名勝

所在地：鹿浜 2-44-1 足立区都市農業公園



荒川堤五色桜碑



「江北荒川堤五色桜」(白黒写真に彩色した絵葉書)
足立区立郷土博物館所蔵

■ 荒川堤五色桜

明治19年(1886)に荒川堤が整備されたのを機に、後の江北村長清水謙吾の主導で、78品種3000本余の桜を荒川堤上、約6kmに渡り植樹したのがはじまりです。花の色が数種あったので、五色桜の名で呼ばれるようになりました。

大正13年(1924)12月、内務大臣が国の史蹟名勝天然記念物保存法に基づき名勝に指定したことを記念して、荒川堤五色桜碑が建てられました。

■ アメリカへの贈呈と里帰り

明治45年(1912)、当時の東京市長、尾崎行雄が、アメリカ合衆国首都ワシントンに贈呈し、ポトマック河畔に植えられた桜の苗木は、荒川堤五色桜を挿し木(クローン)したものです。

近代東京有数の名所のひとつであった荒川堤五色桜は、昭和20年(1945)代に戦災や公害で姿を消してしまいます。しかし昭和57年(1982)に当時のナンシー・レーガン米国大統領夫人が、東京市から贈呈された桜から採った苗木を日本に贈ったことで、里帰りを果たしました。現在、舎人公園や足立区内の小学校などに植樹されています。